



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	周辺地域の幹線道路を相互に連絡することになり、地域の骨格を形成する幹線道路の整備の必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	幹線道路を整備することで交通混雑の緩和が図られ、有効性が高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	住環境の向上と交通の円滑化のため妥当性が高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input checked="" type="checkbox"/> その他	幹線道路と幹線道路とが連結されることにより、交通体系の効率性が高まる。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 幹線道路の整備は用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進めたい。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				用地買収、測量設計	用地買収、測量設計	用地買収、測量設計		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	55,158	47,506	63,414	0	0
事業費 (A)		0	0	55,158	47,506	63,414	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	80.60				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.85	0.45	0.45	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,133	3,776	3,776	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	62,291	51,282	67,190	0	0

## 4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 交通の円滑化のため、幹線道路を整備する。	
平成21年度 of 取組方針	
金目・神戸線の用地買収を効率的に進めたい。また、継続して真土・金目線の測量調査委託を行う。	
課長コメント	幹線道路を整備することにより、交通混雑の緩和を図り、地域の住環境の向上を目指す。